

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587036902	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	a15教育相談 / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受け付ける 木曜日・金曜日5限 面談の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこ ない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につ ける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録 (4 0 %) 授業ごとのレポートおよび小テスト (4 5 %) 授 業への参加度・貢献度 (1 5 %) 合計 6 0 % 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布し、読んでくるべき箇所を示しますのでそれらに目を通したうえで講義 に臨むようにしてください (2h) 。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、理解を確実にするよ うに努めてください (2h) 。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、いじめ・暴力行為な ど児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題(不登校等)への理解
第4回	学校現場の諸問題(いじめ等)への理解
第5回	学校現場の諸問題(発達障害等)への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども(保護者)のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習1(問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習2(問題の深化)
第10回	課題解決のための演習3(問題とその対応についての発信)
第11回	発表1
第12回	発表2
第13回	振り返り1
第14回	振り返り2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	a15身のまわりの科学COC / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuyama-takao nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部414号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 6校時目, 研究室 (教育学部414号室) にて		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちは、日常生活において当たりまえのように科学の産物を享受しているにもかかわらず、それらを科学的に考える機会は少ない。ミクロからマクロまで広がる科学的な視野をもって、私たちの日常生活と自然科学との関わりを見つめなおして理解することを、本授業のねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	以下を本授業の到達目標とします。 知識・思考： ・日常生活と先端科学は、かい離したのではなく密着したものだという認識ができる。 ・長崎という「地域」の科学について体験を通して学び、他者に説明できるようになる。 技能・表現： ・日常生活と先端科学の関係について、他者に自分の言葉で分かりやすく説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポート (授業への取り組み) により、評価します。 全体の3分の1以上を欠席した場合は自動的に失格とします。 授業時には毎回、出欠を確認します。2回遅刻 = 1回欠席、として換算します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	興味を持ったテーマについては、図書館等を活用して自分で深く調べてみてください。予習として2時間 (事前に資料に目を通す等)、授業内容の復習として2時間の時間外学習によって、授業内容の定着を図ること。		
キーワード/Keywords	先端科学, 宇宙, 生命, 長崎という「地域」における科学, 探究学習		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料は配布します。参考図書は、授業中に適宜紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	科学について勉強したい、という意志を持っていること。「能動的」に、授業に参加できること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	科学の教養を身につけておきたい、自分たちで科学について調べたい、という意志のある学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～2回	ガイダンス， 生活における身近な科学（グループワークと発表）
第3回～4回	ノーベル賞を題材として考える科学（グループワークと発表）
第5回～6回	宇宙のロマン（グループワークと発表）
第7回～10回	長崎という「地域」における科学（長崎市科学館の見学を通じた学習） 【第7回～10回の授業期間に、長崎市科学館を見学してもらいます】 【長崎市科学館の入館料410円程度は、各自ご負担ください】
第11～12回	長崎という「地域」における科学（学習内容の発表と共有）
第13～14回	生命の神秘（グループワークと発表）
第15～16回	科学とおかしな科学（グループワークと発表）， 授業のまとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	a15環境と社会 / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 内野 成美 / Utino Narumi, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	藤本: n-fuji_nagasaki-u.ac.jp 高橋: kosuket_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	藤本: 教育学部美術技術教室棟111室 高橋: 教育学部棟233室		
担当教員TEL/Tel	藤本: 095-819-2360 高橋: 095-819-2404		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地球環境問題など現代社会が抱える問題について、「心理学」や「教育」の観点で個人の有り様を問い直す講義です。なぜヒトはそのような行動をするのか、主に環境要因の観点からその理由を推測する枠組みについて学びます。その上で環境問題やエネルギー問題について知り、どのようにそれを考えていけばいいのか、課題を認識し、追求します。		
授業到達目標/Course goals	主に環境要因の観点から、自己の行動の理由を説明することができる。また、一人ひとりの行動の観点から環境問題を捉えることができる。また、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 予めレジュメを配布し、テキストの中で読んでおくべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。各自の光熱水量データなど自宅や事業者にお問い合わせが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。(2h) 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	心理学、応用行動分析学、環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 日本行動分析学会編『ケースで学ぶ行動分析学による問題解決』(金剛出版、2015)、島宗理『使える行動分析学 じぶん実験のすすめ』(ちくま新書、2014) 他 参考書: 環境白書、エネルギー白書、刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。(グループ・全体での討論が多いことを事前に認識しておいて下さい)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	オリエンテーション（目的、学習方法、ルールなど）、アイスブレイキング（グループ決め、認知確認など） 担当：藤本
2回目	問題解決と心理学 担当：高橋
3回目	問題を行動的に定義する 担当：高橋
4回目	応用行動分析学の基礎原理 担当：高橋
5回目	応用行動分析学による問題解決アプローチ 担当：高橋
6回目	身近な環境問題の解決について考える(1)（問題の分析と改善計画の作成） 担当：高橋
7回目	身近な環境問題の解決について考える(2)（改善計画の実施と修正） 担当：高橋
8回目	環境問題と私たちの暮らし 担当：藤本
9回目	持続可能な社会を目指して!?(エコロジカル・フットプリントから考える) 担当：藤本
10回目	持続可能な社会を目指して!?(解決手段の検討) 担当：藤本
11回目	地球温暖化とエネルギー問題 担当：藤本
12回目	私たちの暮らしを支える電気 担当：藤本
13回目	電気のごみを考える(1)（高レベル放射性廃棄物など） 担当：藤本（NUMOから外部講師を呼ぶ予定）
14回目	電気のごみを考える(2)（高レベル放射性廃棄物の処分方法・処分地選定の合意形成） 担当：藤本（NUMOから外部講師を呼ぶ予定）
15回目	課題発表と総合討論 担当：藤本